

3組 企画提案

担任 工藤正之さん

副担任 高山寛也さん



高校生メンバー

3年

佐藤葵、佐藤優衣、中村美月

2年

斎藤聖栞、山口結愛

1年

葛西凜風、高野真美

本日の流れ

- ▶ 1. HRの活動報告
- ▶ 2. サザエさん仮説
- ▶ 3. 企画提案

1. HRの活動報告

私たちの担任 工藤正之さん



私たちに熱い想いをぶつけて
くれる担任！
ねぶた教育のプロフェッショナル
でもいらっしゃいます。



これまでのホームルーム活動

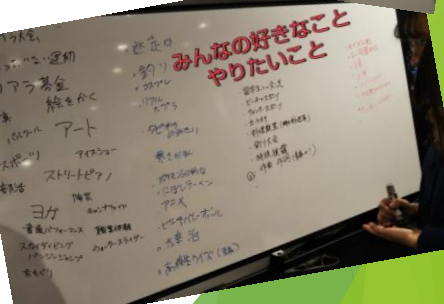
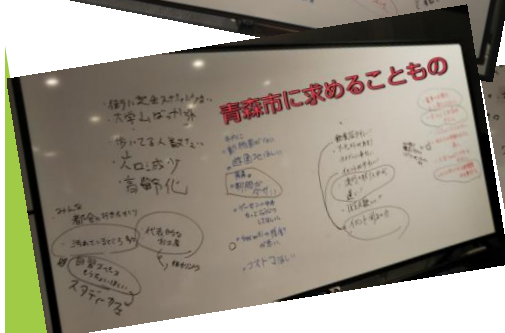
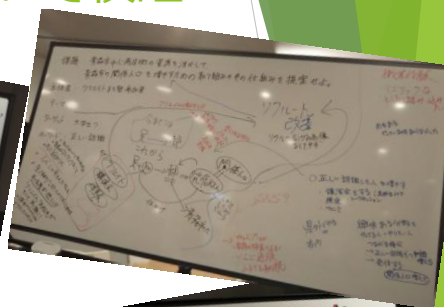
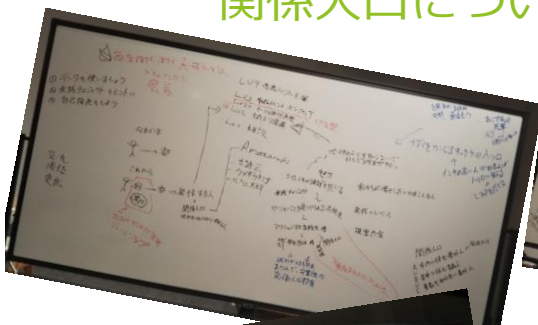


7月
「自分ごとのまちづくり」とは？
8月
「まちづくりってなんなのや」
9月
続「まちづくりってなんなのや」

10月
「関係人口」とは？
11月
続「関係人口」とは？
12月
「関係人口」とは？
1月・2月
企画提案に向けて



日々ディスカッションを重ね、 関係人口について検証



2. サザエさん仮説

工藤さんと私たちが提唱
『関係人口・サザエさん置換説』



工藤さんと私たちが提唱・研究中 『サザエさん仮説』



磯野家と関わり、
物語を産み出す人たち
(交流人口・関係人口)
のりすけおじさん、いくらちゃん、
伊佐坂先生、中島くん、花
沢さん、カオリちゃん、三川屋
さん、あなごさんetc.

関係人口と思しき候補

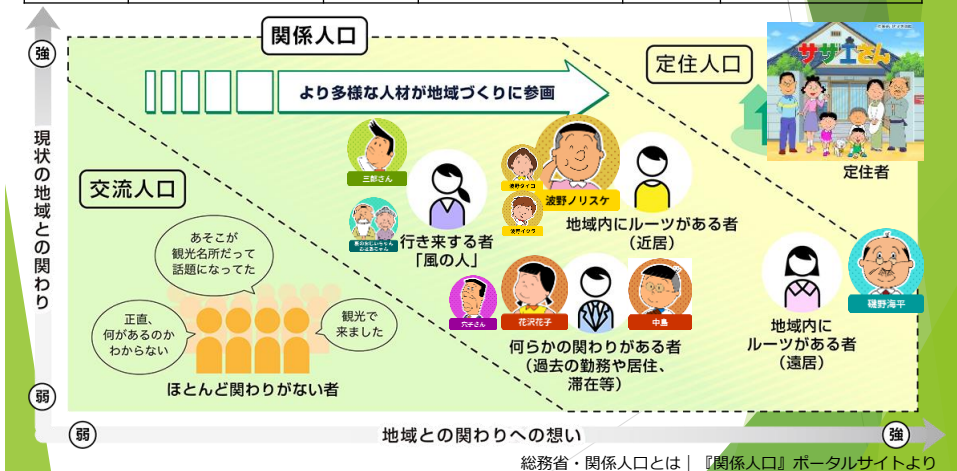

波野ノリスケ


中島


花沢花子

<https://www.fujitv.co.jp/sazae-san/> 磯野家元下宿人 磯野家情報のインフルエンサー

	磯野家との関連 物語性		磯野家との関連 物語性		磯野家との関連 物語性
	マスオの同僚。波平 やサザエとも面識有 り。		波平の甥。磯野家に 下宿経験があり。 頻繁に家族を連れて 遊びに来る。		定期的に商品を届け にきて経済活動を 行っている
	磯野家の元氣な声を 聞きながらのんびり と過ごしている。		波平のお兄さんで、 九州に住んでいる		カツオの友人。カツ オ以外の磯野家の 面々とも交流がある。



私たちクリエイト高校生が磯野家だったらの立ち位置



磯野カツオ



磯野ワカメ



フグ田タロオ

もしかすると進学
就職で磯野家をで
れば、関係人口に
なるかも...

私たちが関係人口を増やす
活動とは？そのターゲットとは？

関係人口を増やす活動とは？ ⇒ 影の薄いキャラクター(磯野家と関心関連が薄い)をいかにサブキャラクターに昇格させるか
私達が狙いやすいターゲットは？⇒ 友達(共感や信頼を感じれる人)、仲間(同じ目標を持った人)になりやすい年齢が近い人たち



花沢花子



中島



波野イクラ

?

?

?

3. 企画提案

私たちの企画提案のテーマ

「知る」から始める関係人口しるべ
～地域活動に参加する人を増やそう！計画～

企画提案のきっかけ

小さな違和感

クリエイトの活動での経験の差による
地域への理解度の「違い」で、
「正しい地域の実情」を周囲が知らないことを感じた

いやいや
開けてる店多いし

面白いものが
ない？

ローカルは
もはや魅力では？

仕事ない？

シャッター
商店街？

入ってみると意外
と良いお店あるし

いなか？

イキイキ仕事
してる人いるぞ

このままだと...

青森？
なんもないなかですよー
恥ずかしいんで早く標準語
になりたーい



青森出身の東京在住
女子大生 A さん



青森出身の神奈川在住
就職状況した B さん

関東サイコウ!! イエー！
人生、東京に捧げるぜー
ヒーハーーーー

地方から転出する学生の多くが、
地域の実情（魅力）に気づかない。

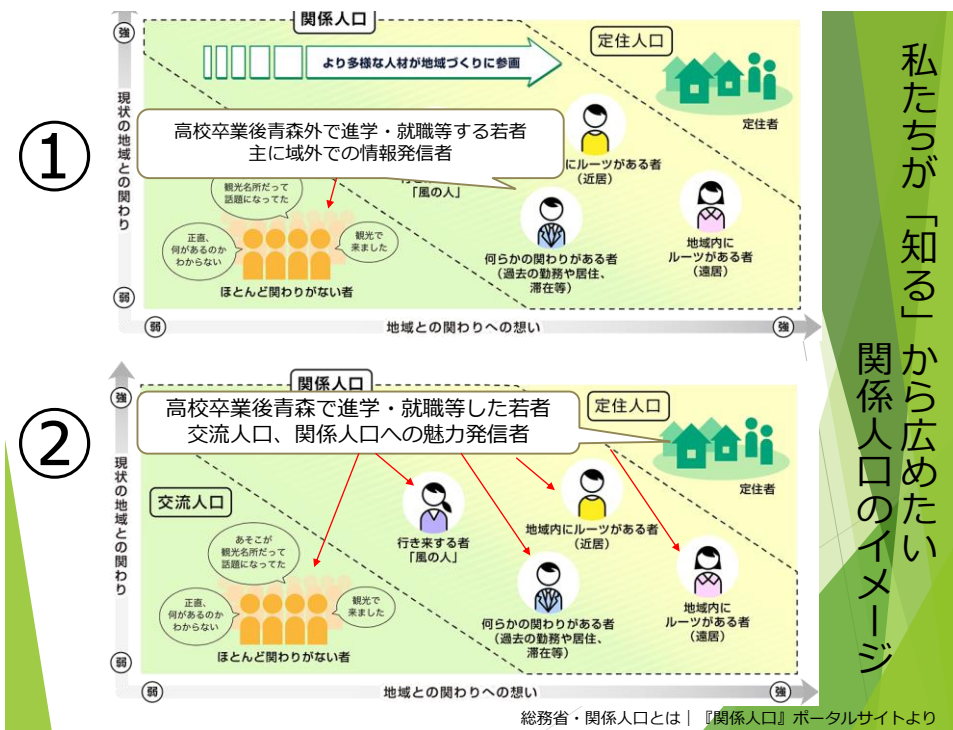
関係人口を増やすための 課題・テーマ

市外でのインフルエンサーに
なりうる可能性をもった
心ある青森出身の学生が育たない

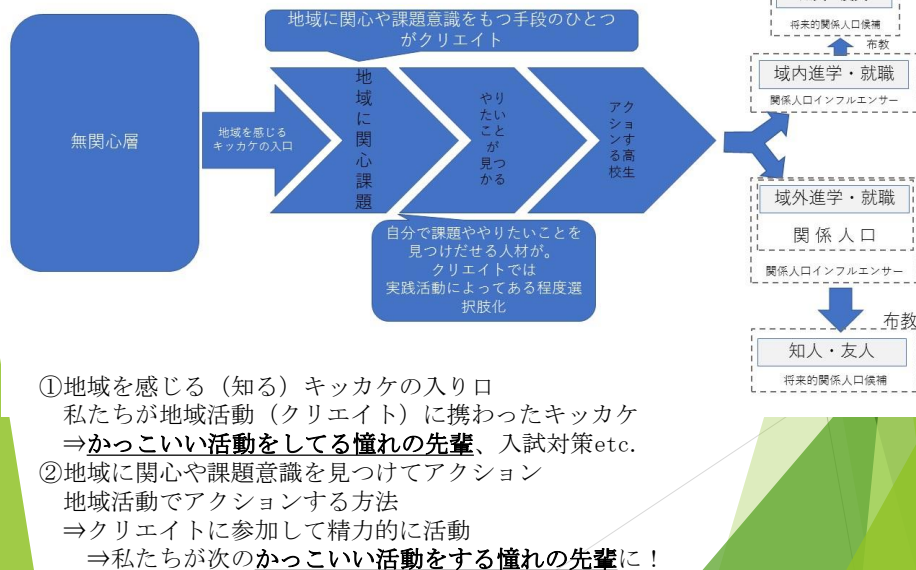
～こんな残念なことはない～

見方を変えれば

自分の力で青森のことを知って魅力を
語れる学生が育っていけば、青森の情
報は自然と広まっていく！



私たちがクリエイトとして できるアプローチ



地域活動に参加するキッカケ の提供

かっこいい活動をしてる憧れの先輩 の魅力を広める

～ 具体的方法 ～

- ▶ リクルーティングの説明機会を学校でなど積極的に！
- ▶ 大多数の人と交わる機会を企画して情報を交換し合う
- ▶ SNSでの活動紹介を積極的に！
- ▶ 地域の大人との関わりもっと増やすことで社会人（親御さん）へ向けたアプローチを増やす

かっこいい活動とは？

これまでの活動に加え、

職能や専門性、こだわりを持った地域の大人との関わりをもっともって、自分の本当の興味を個人個人がしっかり探す。

～ 具体的方法 ～

- ▶ 興味ある分野のお店ごとにチームに分かれて訪問する
- ▶ 若い起業家の方やクリエイティブな活動をしている方のお話を聞く
- ▶ 自分たちが触媒となり地域の人や魅力を伝える
- ▶ 自分たちが学んだことを小中学生に伝える場をつくることで、伝える機会を通して自分たちの理解をふかめる
- ▶ 意見交流会を通じ、高校生以外に大学生なども巻き込む
- ▶ キッズニアみたいなイベントを開催する

今回の私たちの提案

地域活動に参加するキッカケ

- ▶ 大多数の人と交わる機会を企画して情報を交換し合う

×

かっこいい活動

- ▶ 興味ある分野のお店ごとにチームに分かれて訪問する
- ▶ 若い起業家の方やクリエイティブな活動をしている方のお話を聞く



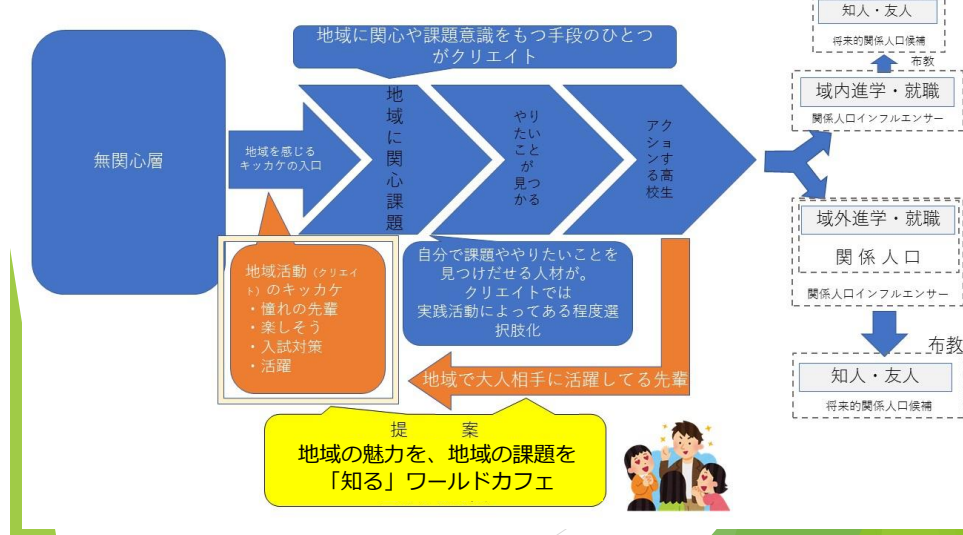
クリエイトが地域の若者へプレゼンツ
地域の魅力を、地域の課題を「知る」ワールドカフェの開催

ワールドカフェは何人かの会議での討論のやり方の一形式。
各参加者が対話を通じて、「気づき」を得ることを目的とする。（参照：Wikipedia）

クリエイトが地域の若者へプレゼンツ 地域の魅力を、地域の課題を「知る」 ワールドカフェの開催

- ▶ 地域の方がたくさん巻き込まれてくれるような取組としての魅力をよく考え、そういった方の専門性をワールドカフェのテーマに企画をまとめる。
（来てほしい方：商店街の方、ねぶた師のような地域独自の専門性のある取り組みをされてる方、〇〇師のような資格や手に職をもって活躍してる方）
⇒ **地域の大人の魅力（仕事などの専門性や情熱）を知る。**
地域のかっこいい大人に企画づくりからよく相談し、企画に巻き込む
- ▶ **クリエイトメンバーがファシリテーター**となって議論をまわす
⇒ ファシリテーションの勉強をして、活発な議論を積極的に生み出す！
- ▶ 青森に来て間もない大学1年生や、青森の高校生をSNSフル活用で招待。
⇒ **まだ青森の姿を知らない人たちに**青森の魅力、青森の課題を知ってもらう

ワールドカフェの開催を通じて 私達の目指す関係人口を増やすモデル



ご静聴ありがとうございました